

謹賀新年 2010年



新しい年をいかが過ごされていますか。学校も3学期が始まり、子どもたちの元気な声に包まれています。今年もどうぞよろしくお願ひします。今朝は62名の子どもたちが寒風の中、気持ちのよいあいさつとともに登校してくれました。

これから1年中で最も寒い時期を迎えます。子どもたちが、雪や氷で夢中に遊ぶ姿からは自然の現象や変化を体ごと感じ、なんでも楽しい遊びに変えてしまう子どもたちのたくましさや創造性が感じられます。

厳しい寒さが続くと、やはり春が待ち遠しいですが、春になると華やかに咲かせるチューリップは球根を秋から冬にかけて地中に植え込みます。球根の中は、これから芽を出し、花を咲かせるエネルギーがたくさん詰まっています。

そのため面倒な世話は必要ないのですが、花を咲かせるために欠かすことのできないことが一



春を待つ学校花壇

つあります。それは、球根が土中で厳しい冬の寒さを体験することです。秋植えの球根は植えてから芽が出るまでの間、ある期間冬の寒さに当たらないと花が咲かないのです。寒いからと覆いをかけたり、鉢を暖かな室内に入れておくと、春になっても葉は茂るけど、花は立派に咲きません。植物の生育には暖かな環境がよいと思われませんが、秋植えの球根は寒さに当たる事によって芽を出す準備をします。美しい花を咲かせるために寒さが必要な時があります。

さて、子どもたちの成長の過程においても同じようなことが言えます。社会の中で成功

を収めた人や立派な業績を残された人は殆ど例外なく、多くの問題や苦境を乗り越えたり人です。これは、つらくとも努力を重ねたり困難があっても自分の力で乗り越えたりすることで、人として大きな成長を遂げるということ物語っているように思います。

温室育ちという言葉がありますが、時には厳しい状況が子どもたちをたくましく豊かに育てることになります。そのために、周りの大人がどのように子どもを見守ることが大切なのか、考えていかなければなりません。

子どもたち一人一人が、つらく大変な状況あっても、それを乗り越えて自分だけの花を咲かせる「しなやかさ・たくましさ」を心の内に育てましょう。

お礼の年賀状



人権月間の一環として、4年生～6年生が内外海地区の一人暮らしの高齢者の方に年賀状を出しました。子どもたちの中には、お会いしたこともない方への年賀状ということで戸惑っていましたが、自分の近況と高齢者の方への思いを伝えました。

いただいたお礼の年賀状には、「元気なかわいい賀状ありがとうございました。とても嬉しかったです。」「お年賀ありがとうございました。ぼくもお元気で頑張ってください。」等書かれていました。また、担任宅にも「年賀状をいただき感謝しています。涙がいっぱい出ました。子どもさんによろしく伝えてください。」との電話もありました。

子どもたちの思いが、みなさんに十分伝わったことと嬉しく思います。

学校評価アンケート結果

昨年度末お世話になりました、学校評価アンケート(児童・保護者・教職員)結果を別紙にまとめましたのでご覧ください。

結果の概要につきましては、1月30日の学習発表会でお話します。その後、地域学校協議会で協議し、今年度の成果と課題を報告します。